

社会福祉法人 翔の会 児童発達支援センター うーたん

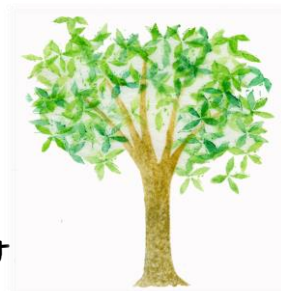
支援理念「誰もが地域で暮らせるために」

営業時間 9:30～16:30

送迎 送迎利用あり（茅ヶ崎市内のみ）

支援方針

- ①大人との豊かな信頼関係を築き、情緒の安定や自己肯定感を育てます（自分の存在が認められ、安心して過ごせる環境づくり）
- ②感情、自己主張をたっぷりと表現できるようにします。
- ③「見て見て」「すごいでしょ」「もう一回」など大人に伝えたい気持ちを高めるとともに活動を通して意欲や自信が持てるようにしていきます
- ④お友だちとの関わりの中で、気持ちのコントロールや対人関係を広げていきます。
- ⑤併行通園や就学に向けて、お子さん同士の集団生活の場を作ります。



児童発達支援について

児童発達支援の基本的な役割には、「発達支援（本人支援・移行支援）」「家庭支援」「地域支援」があります。これらは、障がいのある子どもやそのご家族に対して質の高い支援を提供するために定められた「児童発達支援ガイドライン」によって基準が定められています。

本人支援について

本人支援とは、「障害のあるお子さまが将来的に、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすること」を大きな目標とした支援です。本人支援には、①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性の5つの領域があります。この5つ全てを含めた総合的な支援を提供することが義務付けられています。



♪うーたんイベント

うーたんでは、様々なイベントを開催しています！

- ★すぽフェス ★アートフェス ★OB保護者お話し会
（うーたん保育園と合同）★OYAJIDAY（父向けイベント）
★A・UN夏祭り（複合施設と合同）



移行支援



お子さんが通っている保育園や幼稚園へ伺い、より良く過ごせるようご様子を確認し本人理解に繋げることや必要に応じて情報を共有します。
就学を見据え、お子さんの状態に合わせた過ごし方や発達課題、強みをご家族と共有していきます。

健康・生活

お支度 お片付け
はみがき 着替え
トイレ 食事
見通しをもつ（スケジュール）

家族支援



お子さんの発達の状態や特性、強み、子育ての悩みについてご家族と一緒に捉えていきます。ご自宅でできるサポートも一緒に考えていきます。
♪活動例
親子通園、子育て勉強会、朝Café

人間関係・社会性

他者との楽しみの共有
他者を頼る・一緒に挑戦する
順番や交代などのルール
お友達とのやりとり

本人支援



5領域を踏まえ、本人の興味・関心や発達の状態を探り、楽しみながら挑戦できる1人1人に合わせた活動内容の工夫をおこなっています。

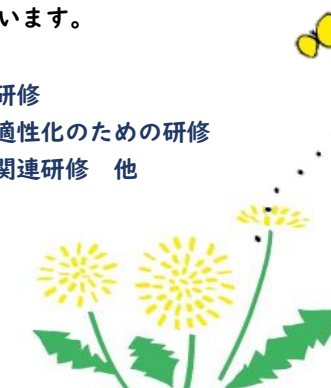
運動・感覚

全身運動
（サーキット・トランポリンなど）
指先の運動（制作・お絵描き）
様々な感覚をつかったあそび
（聞く・見る・触れるあそび）

—職員の質の向上に 資する取り組み—

うーたんでは、職員の支援の質の向上のために研修を実施しています。

- 虐待防止研修
- 身体拘束適性化のための研修
- 発達支援関連研修 他



地域支援・地域連携



お子さんが地域の中でより良く過ごせるよう、様々な関係機関（保育園や幼稚園、子ども家庭センター、相談支援事業所、福祉事業所など）と連携し、ご家庭を支える

言語・コミュニケーション

本人なりの表現を引き出す
（ジェスチャー・発声・言葉など）
挨拶 お願い 拒否
「手伝って」などを伝える

認知・行動

体操などで動きを真似する
おもちゃや物のしくみ・あそび方を知る
ものの名前を覚える
自分の気持ちをコントロールする（情緒）